

だんじょきょうどうさんかくすいしんこんわかいだより

男女共同参画推進懇話会便り

男女共同参画推進懇話会
原 恭平さん

私が男女共同参画の推進活動を始めて約15年が経過しました。

活動当初のことを振り返ると、一番のテーマとしてワークライフバランスのことが取り上げられ、議論をしていたと思います。

平成22年の男女共同参画に関する市民意識調査では『男は仕事、女は家庭』など性別で役割を固定した考えについて「同感する」と答えた人が5・8%、「同感しない」と答えた人が51・7%、「どちらともいえない」が40・7%でした。令和7年の調査では同じ質問で、「同感する」と答えた人が4・2%、「同感しない」と答えた人が70・5%、「どちらともいえない」が23・8%となっています。

この数値から見ると、15年前と比べて意識は確実に変わってきていることが分かります。

しかし日本では、長時間労働や年功序列、同調圧力といった文化が根強く残っています。厚生労働省の『毎月勤労統計調査(令和6年

分結果確報』によると、一般労働者の所定外労働時間は月13時間を超え、年間では150時間以上に及びます。働き方改革によって、フレックスタイムやテレワーク、副業などの制度は整いつつありますが、現場では「制度はあるが使いづらい」という声も少なくありません。特に介護や育児との両立は、長時間労働が壁となり、男性の育児参加や介護離職の防止が進みにくい状況があります。

世界を見てみると、スウェーデンでは効率的に働き、家族や地域との時間を大切にすることが根付いています。単なる制度の差ではなく、「何を優先する社会か」という価値観の違いが社会、文化を変えていくのだと思います。

個人ができることとして、ミクロレベル(家庭)からメゾレベル(職場など)、マクロレベル(社会制度)へ段階的に訴えかけ変えていくことが求められているのだと思います。



▲市ホームページ
男女共同参画

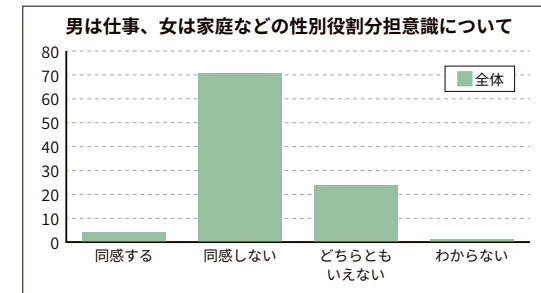
男女共同参画 ～あなたの意識は？～

『男女共同参画に関する市民意識調査』結果報告

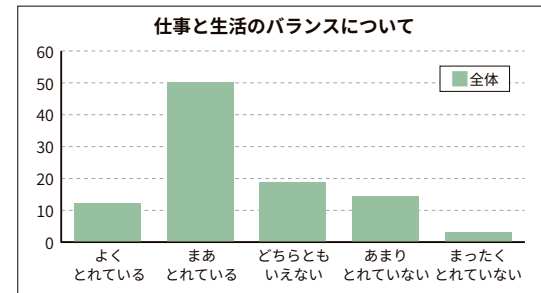
●問い合わせ先 総務課 総務・男女共同参画班 ☎096-248-1112

本市では、令和9年度から始まる第5次の市男女共同参画推進行動計画の資料として、昨年9月に市民3,000人を対象に男女共同参画に関する市民意識調査を実施し、1,010通の回答がありました。ご協力ありがとうございました。

市民の皆さんは『男女共同参画』について、どのような意識を持っているのでしょうか。調査結果の一部をお知らせします。



『性別役割分担意識』についてお尋ねしています。「同意しない」が7割を超えていますが、「どちらともいえない」も約2割となっています。役割を固定するのではなく、「できる人が、できる時に、できるだけ」という意識を持つことが大切です。



ワークライフバランスについて、「よくとれている」「まあとれている」を合わせると、約6割となっていますが、「どちらともいえない」「あまりとれていない」「まったくとれていない」という人も3割以上いるようです。男女共同参画社会が推進されれば、お互いが責任を分かち合い、多様な生活スタイルに合った仕事・家事・育児・趣味などの時間の使い方ができるのではないのでしょうか。

市民意識調査の全ての項目などの詳しい結果は、市ホームページに掲載していますので、ご覧ください。



▲市ホームページ

あなたの経験・知識をお待ちしています

人材(財)バンクに登録しませんか

●問い合わせ先 企画課 企画広報班 ☎096-248-1813

市では、市自治基本条例に基づく“参画と協働によるまちづくり”を目指し『合志市人材(財)バンク制度』を設けています。

同制度は、市の発展に貢献したいと思っている人を発掘・登録し、各種委員会・審議会などの委員募集時に紹介する制度です。

▶登録できる人

- ・自らの経験と知識を生かして市の発展に貢献したいと思っている人
- ・市の各種委員会・審議会などに参加できる人
- ・年齢・性別は問いません

▶登録方法

- ・ホームページまたは企画課にある登録申込書に記入して、メール・ファクス・郵送または窓口で提出してください。(通年募集)

▶提出先

〒861-1195 (住所不要) 合志市役所 企画課
☎096-248-1196 ✉kikaku@city.koshi.lg.jp



平成27年合志市秋まつり事業のタイムカプセル

10年越しの『メッセージ』を送信

●問い合わせ先 商工振興課 商工振興班 ☎096-248-1115

平成27年合志市秋まつりで、市民を対象に募集し、タイムカプセルで保管していた、自分・家族・こどもへの10年越しの『メッセージ』を、令和7年12月に郵送しました。

当時から住所変更などがあった場合、届かない可能性もありますので、心当たりのある人は問い合わせ先までご連絡ください。

※あて所不明などで戻ってきたメッセージは、令和9年1月まで市で保管します



こちら消費生活センターです

●問い合わせ先 市消費生活センター(安全安心課内) ☎096(248)5442
相談受付時間 平日 午前10時～午後4時

ダークパターンに気を付けて

事例1

SNSに「〇〇さんが使っている化粧クリーム、〇〇個売れています」と広告が出た。サイトに飛ぶと「この価格で販売できるのは今だけ」とカウントダウンタイマーの表示が出た。焦って注文したが、定期購入の契約になっていた。

(60代 女性)

事例2

欲しいスニーカーをネットで見つけた。どこのサイトも在庫切れで、このサイトの閲覧者も5人がカートに入っていた。このサイトの評価もよかったので注文したが商品が届かない。

(20代 男性)

解説

インターネットのサイトやアプリなどの操作画面で、利用者をだましたり、勘違いさせたりするように設計されたデザインに対して名づけられた名称を『ダークパターン』といいます。

・商品を開覧しただけなのに会員登録

録を求められる。

- ・買わせたい商品が、他の商品より目立っている。
- ・拒否する選択肢がないポップアップが繰り返し表示される。
- ・サービス登録の容易さに比べて、解約を困難にする。
- ・定期購入なのに1回だけの購入であるかのように表示されている。
- ・誤解を招く、または虚偽である『お客様の声』を掲載する。
- ・割引期間の終了をカウントダウンタイマーによって表示する。

アドバイス

まずは『ダークパターン』が存在することを知っておきましょう。ダークパターンに対処するには一呼吸置くことが大切です。注文する場合は、契約内容を最終確認画面でしっかり確認し、画面のスクリーンショットも忘れずにとっておきましょう。困ったときは消費生活センターへ相談してください。



▲市消費生活センター